

令和2年度

鳥取県図書館協会 定期総会

日時：令和2年7月30日（木）
午後1時00分～2時30分
場所：鳥取県立図書館 大研修室

－ 日 程 －

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 報告事項
 - (1) 令和2年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について
 - (2) 令和元年度の鳥取県図書館協会が関わった事業一覧について
 - (3) 臨時総会の結果報告について
- 4 審議事項
 - (1) 議案第1号 令和2年度人事異動等に伴う副会長の選出について
 - (2) 議案第2号 令和元年度事業報告案及び決算案について
－ 監査報告 －
 - (3) 議案第3号 令和2年度事業計画案及び予算案について
 - (4) 議案第4号 令和3年度以降の鳥取県図書館大会等の担当地区の変更
について
 - (5) その他
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

報 告 事 項

(1) 令和2年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について

令和2年度の人事異動等により、役員に交代がありましたので報告します。

任期は令和3年6月30日まで（前任者の残任期間）

役 職	氏 名	所 属 等
副会長	(旧) 小林 千春	前伯耆町立図書館長
	—	—
理事	(旧) 田村 晴夫	前鳥取市立中央図書館長
	(新) 長本 次郎	鳥取市立中央図書館長
理事	(旧) 船越 延子	前大山町立図書館長
	(新) 西尾 秀道	大山町立図書館長
理事	—	—
	(新) 角田 有希子	南部町立図書館長
監事	(旧) 馬野 眞由美	前町立みささ図書館長
	(新) 新 寛	町立みささ図書館長
監事	(旧) 村山 洋子	前若桜町立わかさ生涯学習情報館
	(新) 福山 薫	若桜町立わかさ生涯学習情報館

令和2年度 鳥取県図書館協会 役員名簿

〔任期：令和3年6月30日まで〕

役 職	氏 名	所 属 等	鳥取県読書推進運動協議会 役職	鳥取県社会教育協議会 役員	備考
会 長	山田 節子	個人会員	会 長	理 事	
副会長	網浜 聖子	鳥取県立図書館長	副会長	委 員	
〃	山脇 幸人	倉吉市立図書館長	理 事	委 員	
〃	(欠)		〃	委 員	
理 事	深澤 義彦	市長会長（鳥取市長）	〃		
〃	吉田 英人	町村会代表（八頭町長）	〃		
〃	長本 次郎	鳥取市立中央図書館長	〃		新任
〃	菅原 朗	米子市立図書館長	〃		
〃	嘉賀 收司	境港市民図書館長	〃		
〃	西尾 秀道	大山町立図書館長	〃		新任
〃	角田 有希子	南部町立図書館長	〃		新任
〃	井口 恵美子	鳥取県学校図書館協議会会長 （米子市立福米西小学校長）	〃		
〃	長石 彰	鳥取県学校図書館協議会副会長 （鳥取市立河原中学校長）	〃		
〃	古田 嘉博	鳥取県学校図書館協議会副会長 （鳥取県立鳥取緑風高等学校長）	〃		
〃	松浦 達也	鳥取大学附属図書館長	〃		
〃	村上 美奈子	鳥取県私立幼稚園協会代表 （小さき花園幼稚園長）	〃		
〃	池田 緑	おはなしグループがらがらどん代表	〃		
〃	古泉 淳夫	鳥取県書店商業組合理事長	〃		
〃	木椀 由里香	個人会員	〃		
〃	齋藤 明彦	個人会員	〃		
監 事	新 寛	町立みささ図書館長	監 事		新任
〃	福山 薫	若桜町立わかさ生涯学習情報館長	〃		新任

(2) 令和元年度の鳥取県図書館協会が関わった事業について

【共催事業】

1 ブックインとっとり2019

展示：令和元年11月1日（金）～11月4日（月）

依頼者：ブックインとっとり実行委員会

2 第32回地方出版文化功労賞受賞記念講演会

期日：令和元年11月2日（土）

依頼者：ブックインとっとり実行委員会

3 鳥取県子どもの読書推進事業 中学生ポップコンテスト2019

募集：令和元年8月1日（木）～令和元年9月27日（金）

依頼者：鳥取県教育委員会

4 ニューヨーク公共図書館映画上映会

期日：令和2年2月15日（土）

依頼者：『ニューヨーク公共図書館』を鳥取で上映する会

【後援事業】

1 第38回とっとり読書絵てがみ・感想文コンクール

募集：令和元年11月1日（金）～令和2年1月15日（水）

依頼者：鳥取県学校図書館協議会、新日本海新聞社

【参加事業】

1 鳥取県社会教育協議会総会・委員研修会

期日：令和元年5月21日（火）

会場：上灘公民館

参加者：山脇委員、野間司書（網浜委員の代理）

2 令和元年度全県社会教育関係者研修会

期日：令和元年9月26日（木）

会場：倉吉体育文化会館

参加者：山田理事

3 鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会 ※資料1

期日：令和元年10月1日（火）

会場：米子コンベンションセンター

実践事例：高橋真太郎（鳥取県立図書館 情報相談課 相談担当 係長）が「まちなかの居場所としての図書館」というテーマで鳥取県立図書館の事例発表を行った。

参加者：山田理事、小林委員、網浜委員

(3) 臨時総会の結果報告について

鳥取県図書館協会臨時総会の書面審議は令和2年5月29日から6月9日の期間に会員（令和2年5月31日までに入会）を対象に実施した。第1号議案から第2号議案の2まで、すべての議案が賛成多数により承認された。

議案	賛成	反対	合計
第1号議案 令和2年度鳥取県図書館大会（7月28日開催予定）の中止について	67	0	67
第2号議案の1 鳥取県図書館協会会則の改正について （鳥取県図書館協会長の専決事項について）	67	0	67
第2号議案の2 鳥取県図書館協会会則の改正について （書面または電磁的方法による理事会及び総会の開催について）	67	0	67

※臨時総会の結果を受け、鳥取県図書館協会会則は改正し、令和2年6月12日に施行した。

【記入欄にあったご意見（抜粋）】

●鳥取県図書館大会について

- ・中止という選択肢だけではなく、3密を避ける方法で図書館大会の意味を再考する大会は開催できないか。
- ・大会は1日で終わるのではなく、1週間とか期間を区切って情報交換ができるとよい。
- ・図書館協会の会員、図書館担当者・司書などが一堂に会せなくても同じ環境で状況を把握したり、取り組みを紹介することによりコロナ年が空白の年にならないようにできそうな気がする。
- ・予定されていた内容を次回以降の企画に活かすなど、何らかのかたちで会員に還元できるよう検討していただきたい。
- ・時期をずらして（オンラインも含めて）の分科会の分散開催、また各図書館における感染対策の事例紹介・情報共有は、今後到来が予想される第2波・第3波に対して有益とも感じる。こういった状況でもいわゆる「鳥取モデル」を全国へ示されることを期待している。
- ・倉吉市会場の中止は残念。
- ・来年度の開催地は中部なのか西部なのか知りたい。

●協会ニュースについて

- ・中部地区で開催地として、事例発表を予定されていた館、学校等があれば協会ニュースでも誌上発表をされてはどうか。
- ・協会ニュースでも今回のコロナ禍に各館がどう対応したのか特集を組んで後世の記録に残してはどうか。

●会員（会費）について

- ・例年は図書館大会の折に新規入会や会員継続の手続きをされる方が多いと思う。今年度の会員が減らないよう対策を取ってほしい。
- ・鳥取県図書館大会の参加費は会員は無料となっており、多くの会員にとって協会員であることのメリットと考えられる。会費のフィードバック方法について考慮してほしい。

審 議 事 項

(1) 令和2年度人事異動等に伴う副会長の選出について

新役員（任期：承諾いただいた日より令和3年6月30日まで）

役職	氏名	所属等	鳥取県読書推進 運動協議会役職	鳥取県社会教育協 議会役職
副会長			理事	委員

参考（任期：令和3年6月30日まで）

役職	氏名	所属等	鳥取県読書推進 運動協議会役職	鳥取県社会教 育協議会役職
副会長	小林 千春	前伯耆町立図書館長	理事	委員

<参考>

鳥取県図書館協会会則

（役員）

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長
- (2) 副会長 3名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2名

（役員を選出）

第8条 会長及び副会長は、総会で選出する。

2 理事及び監事は、会長が委嘱する。

（役員任期）

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

鳥取県図書館協会役員構成について

	現在		旧	
	役員数	内訳	役員数	内訳
会長	1		1	
鳥取県立図書館	1	副会長 1	1	副会長 1
市立図書館	4	副会長 1 理事 3	4	副会長 1 理事 3
町立図書館	4	副会長 1 理事 1 監事 2	4	副会長 1 理事 1 監事 2
学校図書館協議会	3	理事 3	3	理事 3
大学等図書館	1	理事 1	3	理事 3
幼稚園・保育所	1	理事 1	1	理事 1
読書団体	1	理事 1	1	理事 1
書店組合	1	理事 1	1	理事 1
市長会	1	理事 1	1	理事 1
町村会	1	理事 1	1	理事 1
個人会員	2	理事 2		
		会長 1 副会長 3 理事 15 監事 2 (計 21名)		会長 1 副会長 3 理事 15 監事 2 (計 21名)

(平成31年2月現在)

(平成19年役員改選以前)

平成18年度「鳥取県図書館協会のあり方検討委員会」、平成22年度「鳥取県図書館協会検討委員会」での検討結果を踏まえ、役員構成の見直しと理事枠の拡大を行い、現在の構成としている。

(2) 議案第2号 令和元年度事業報告案及び決算案について

令和元年度 事業報告 (案)

1 理事会

<第1回理事会>

期日：令和元年6月6日(木)

会場：県立図書館 小研修室

=内容=

- (1) 人事異動等に伴う役員の退任・就任について
- (2) 平成30年度の鳥取県図書館協会が関わった事業一覧について
- (3) 令和元年度任期満了に伴う会長・副会長の選任について
- (4) 平成30年度事業報告案及び決算案について/監査報告
- (5) 令和元年度事業計画案及び予算案について
- (6) 鳥取県図書館協会設立30周年記念事業について

<第2回理事会>

期日：令和2年2月7日(金)

会場：県立図書館 小研修室

=内容=

- (1) 令和元年度の鳥取県図書館協会が関わった事業一覧について
- (2) 令和元年度事業報告案及び決算見込みについて
- (3) 令和2年度事業計画案及び予算案について

2 定期総会

期日：令和元年6月24日(月)

会場：米子市立図書館 多目的研修室

<総会内容>

- (1) 平成31年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について
- (2) 平成30年度の鳥取県図書館協会が関わった事業一覧について
- (3) 令和元年度任期満了に伴う会長・副会長の選任について
- (4) 平成30年度事業報告案及び決算案について/監査報告
- (5) 令和元年度事業計画案及び予算案について
- (6) 鳥取県図書館協会設立30周年記念事業について

※総会終了後に研修会を実施 **※資料2**

講師：山田晋前鳥取県図書館協会長

演題：『図書館の挑戦～情報拠点施設から社会教育施設へ～』

参加者数：52名(平成30年度 44名)

3 第25回鳥取県図書館大会（担当：東部地区の会員等）

- (1) 期日：令和元年7月26日（金）
- (2) 会場：とりぎん文化会館、鳥取県立図書館
- (3) 参加対象：参加を希望する県民、県内公共図書館・公民館図書室関係者、
県内学校図書館関係者、幼稚園・保育園関係者、
家庭文庫・読み聞かせボランティア等読書推進関係者 ほか
- (4) 内容：記念講演、分科会等 ※資料3
参加者数：366名（平成30年度 244名）

4 県内図書館視察（担当：西部地区の会員等） ※資料4

- (1) 期日：令和元年10月7日（月）
- (2) 視察先：県西部の図書館等
南部町立天萬図書館、南部町立会見小学校
日南町図書館、江府町立江府中学校
参加者数：38名（平成30年度 29名）

5 県外研修会参加費等助成事業 ※資料5

予算の執行状況に応じて、助成人数は調整することとする。

※理事会の議論を受け、「2019年度全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門」を助成の対象として追加した。

(1) 第105回全国図書館大会三重大会

概要：公共図書館・大学図書館・学校図書館・専門図書館等の各館種から出版流通まで図書館にまつわる幅広い分野をカバーする全国大会。
全体会の他、多種多様な分科会を開催。大会テーマ「令和の新時代を拓く図書館 ～常若（とこわか）のくにかからの発信～」。

主催：日本図書館協会

期日：令和元年11月21日（木）・22日（金）

会場：三重県総合文化センター（津市）

助成金額：32,000円〔旅費の一部及び参加費（4,000円）〕

→1名に助成

(2) 2019年度全国公共図書館研究集会 サービス部門及び総合・経営部門

概要：公共図書館の総合的な経営やサービスについて考える研究集会。

2019年度のテーマは「レファレンスサービスを活性化するために」。

主催：日本図書館協会

期日：令和元年12月12日（木）・13日（金）

会場：千葉市生涯学習センターホール（千葉市）

助成金額：40,000円〔旅費の一部及び参加費（3,000円）〕

→1名に助成

(3) 2019年度全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門

概要：公共図書館の児童・青少年サービスについて考える研究集会。2019年のテーマは「子どもとともに読書のよろこびを分かち合おう」。

主催：日本図書館協会

期日：令和元年11月28日（木）・29日（金）

会場：島根県民会館大会議室（松江市）

助成金額：3,000円[参加費（3,000円）]

→助成申込みなし

(4) 第21回 図書館総合展

概要：図書館、読書・出版、学術情報等に関する図書館界最大の総合展示会。巨大な会場内に様々な展示ブースを設置し、各種フォーラムも開催される。館種を超えた図書館界全体の交流・情報交換の場となっている。

主催：図書館総合展運営委員会

期日：令和元年11月12日（火）～14日（木）

会場：パシフィコ横浜（横浜市）

助成金額：45,000円[旅費の一部]

→1名に助成

(5) 第31回中国地区学校図書館研究大会

概要：学校図書館の役割やあり方について、全国各地の実践や研究を通して学ぶ研究大会。隔年開催。

主催：中国地区学校図書館協議会

期日：令和元年11月7日（木）・8日（金）

会場：山口県山口市

助成金額：36,000円[旅費の一部及び参加費（4,000円）]

→1名に助成

(6) 子どもと子どもの本の講座

概要：子どもと本をつなぐ人の養成・スキルアップのための講座。「子どもと本をむすぶ基礎コース」「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」「児童文学をたのしむ特別講座」がある。各コース複数回のカリキュラムの設定だが、部分受講も可能。

※3コース・複数回開催されるうちの1回の参加に助成

主催：大阪YWCA専門学校

期日：令和元年度内

会場：大阪YWCA専門学校（大阪市）

助成金額：12,000円[旅費の一部及び参加費（2,500円）]

→1名に助成

6 「協会ニュース」の発行（担当：中部地区の会員等）

協会の広報紙を年4回発行する（6月、9月、12月、3月発行予定）

No.89・図書館の魅力（9）「社会教育施設としての図書館」

（6月）・鳥取県図書館協会定期総会について

- ・会員継続のお願い
- ・住民とともにすすめる 智頭町の新しい図書館づくり
- ・平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館
- ・鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第4次計画）
- ・図書館人ハンドブック

No. 90 ・新会長あいさつ

- (9月)
- ・第25回鳥取県図書館大会報告
 - ・図書館新建設シリーズ（境港）
 - ・えほんのくら2019報告／ジュニア司書報告
 - ・令和元年度定期総会／研修会報告
 - ・図書館人ハンドブック

No. 91 ・ALA年次大会事例発表報告

- (12月)
- ・県内図書館視察報告
 - ・岩美町立図書館見学
 - ・ウィキペディアタウン報告
 - ・医学図書館協会来県
 - ・ブックインとっとり
 - ・わかさ生涯学習情報館開館15周年
 - ・協会新役員
 - ・図書館人ハンドブック

No. 92 ・「ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス」上映会報告

- (3月)
- ・倉吉市立図書館30周年記念事業
 - ・全国公共図書館研究集会で事例発表
 - ・『図書館は誰のものですか?』という問いから学ぶもの
「市民とともに育つ図書館～伊万里市の実践から～」報告
 - ・県外研修会参加費等助成事業 研修報告
 - ・図書館とまなびタウンを語るワークショップ開催
 - ・「居場所について考えるまちなかワークショップ」開催しました!
 - ・全国高等学校ビブリオバトル鳥取県大会について
 - ・図書館人ハンドブック

7 第3回「本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」 ※資料6

図書館や本などに関わる心温まるエピソードを募集し、表彰する。集まったエピソードを活用し、図書館の魅力を発信し、読書推進の機運を喚起する。

募集：10月～1月 応募総数：90編（平成30年度は16編）

令和2年2月7日（金）最終審査会、令和2年2月24日（月）表彰式を開催

※ 大賞1編、優秀賞2編、本部門・書店部門・図書館部門・小中学生部門賞4編を選出

令和元年度 鳥取県図書館協会一般会計収支決算書 (案)

(収入の部)

(単位 円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 引 (B-A)	摘 要
1 会 費	491,000	547,000	56,000	
県立図書館	60,000	60,000	0	60,000円×1館
市立図書館 町村立図書館	121,500	121,500	0	18,000円×2館、9,000円×2館 4,500円×15館
大学図書館 学校図書館協議会 その他団体	37,500	37,500	0	○2大、短、専、3学校協議会 4,500円×7 ○鳥取家庭文庫連絡会、米子市児童文化 センター、男女共同参画センター 2,000円×3
個人	260,000	316,000	56,000	153口(人)
団体	12,000	12,000	0	6団体(県書店商業組合、江府図書館友の会、鳥 取学園、ねえよんでの会、境港読書会、図書館フ レンズけたか)
2 寄 付 金	50,000	50,000	0	読書推進運動協議会助成金
3 雑 収 入	105,002	141,001	35,999	
受取活動費	30,000	30,000	0	日本図書館協会
会員外収入	75,000	111,000	36,000	鳥取県図書館大会 参加費500円×222人
預金利息	2	1	△ 1	
4 繰 越 金	75,110	75,110	0	
合 計	721,112	813,111	91,999	

(支出の部)

(単位 円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 引 (A-B)	摘 要
1 会 議 費	80,000	49,970	30,030	
理事会費	70,000	49,857	20,143	理事の旅費等
総会費	10,000	113	9,887	研修講師水代
2 事 業 費	577,500	565,128	12,372	
鳥取県図書館大会	300,000	264,940	35,060	講師謝金、会場使用料、手話通訳料等
県内図書館視察	64,000	78,584	△ 14,584	バス代(1日借上分)、土産代等
全国大会・研修会派遣費	171,000	169,180	1,820	全国図書館大会等派遣費5名(三重1名、千 葉1名、神奈川1名、山口1名、大阪1名)
発掘!図書館エピソード 大賞	42,500	52,424	△ 9,924	受賞者報償物品(図書カード)、広報費、 雑費等
3 事 務 局 費	45,000	82,350	△ 37,350	協会ニュース用紙・発送代、 封筒印刷代、会費振込手数料等
4 予 備 費	18,612	0	18,612	
合 計	721,112	697,448	23,664	

収支決算

収入額	支出額	差引残額
813,111	697,448	115,663

令和2年度へ繰越

令和元年度 財産の部決算書(案)

(単位:千円)

科 目	前年度末	本年度増減	本年度末	備 考
寄附(図書カード)	40	△ 9	31	目的：総会研修会、図書館大会講師等 謝礼 ⇒図書館大会事例発表者等への謝礼

監 査 報 告 書

令和元年度鳥取県図書館協会の会計監査を行いましたので、その結果を次
のとおり報告いたします。

出納帳簿、証拠書類等を厳正に精査したところ、適正かつ確実に執行されてい
ることを確認しました。

令和2年 6月 3日

鳥取県図書館協会
会長 山 田 節 子 様

鳥取県図書館協会

監 事 新 寛



監 事 福 山 薫



(3) 議案第3号 令和2年度事業計画案及び予算案について

令和2年度 事業計画 (案)

1 理事会

<第1回臨時理事会>

期日：令和2年5月12日(火)

会場：県立図書館 大研修室(鳥取市尚徳町101)

=内容=

- (1) 鳥取県図書館大会の開催について(令和2年7月28日(火)を予定)
- (2) 総会の開催について(例年6月末に定期総会を開催)
- (3) 鳥取県図書館協会会則の改正について

<第2回臨時理事会>

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催とした(回答期限5月27日(水))。

=内容=

- (1) 臨時総会の提出議案について
 - ・第1号議案 令和2年度鳥取県図書館大会(7月28日開催予定)の中止について
 - ・第2号議案の1 鳥取県図書館協会会則の改正について
(鳥取県図書館協会長の専決事項について)
 - ・第2号議案の2 鳥取県図書館協会会則の改正について
(書面または電磁的方法による理事会及び総会の開催について)
- (2) 臨時総会の書面開催について

<第3回理事会>

期日：令和2年7月2日(木)

会場：県立図書館 大研修室

=内容=

- (1) 令和元年度事業報告及び決算案について
- (2) 令和2年度事業計画及び予算案について

<第4回理事会>

期日：令和3年2月中下旬頃を予定

会場：県立図書館 大研修室

=内容=

- (1) 令和2年度事業報告案及び決算見込みについて
- (2) 令和3年度事業計画案及び予算案について

2 総会

<臨時総会>

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催とした(回答期限6月9日(火))。

=内容=

- (1) 第1号議案 令和2年度鳥取県図書館大会(7月28日開催予定)の中止について
- (2) 第2号議案の1 鳥取県図書館協会会則の改正について
(鳥取県図書館協会長の専決事項について)
- (3) 第2号議案の2 鳥取県図書館協会会則の改正について
(書面または電磁的方法による理事会及び総会の開催について)

<定期総会>

期日：令和2年7月30日(木)

会場：県立図書館 大研修室

=内容=

- (1) 令和元年度事業報告及び決算案について
 - (2) 令和2年度事業計画及び予算案について
- 総会終了後に研修会を実施する ※資料7

3 【中止】第26回鳥取県図書館大会(担当：中部地区の会員等)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とする。

- ~~(1) 期日：令和2年7月28日(火)~~
- ~~(2) 会場：中部地区内~~
- ~~(3) 参加対象：参加を希望する県民、県内公共図書館・公民館図書室関係者、
県内学校図書館関係者、幼稚園・保育園関係者、
家庭文庫・読み聞かせボランティア等読書推進関係者ほか~~
- ~~(4) 内容：記念講演、分科会等を予定~~

4 県内図書館視察(担当：東部地区の会員等)

- (1) 期日：令和2年11月頃の月曜日で予定
- (2) 視察先：県東部の図書館等

5 県外研修会参加費等助成事業 ※資料8

各研修会の助成金額計算の詳細は資料8による。

- (1) 第106回全国図書館大会
概要：公共図書館・大学図書館・学校図書館・専門図書館等の各館種から出版流通まで図書館にまつわる幅広い分野をカバーする全国大会。全大会の他、多種多様な分科会を開催。
主催：日本図書館協会

期日：令和2年10月29日（木）・30日（金）

会場：和歌山県民文化会館、和歌山県自治会館、ホテルアバローム紀の国
（和歌山県和歌山市）

助成金額：25,000円[旅費の一部及び参加費（4,000円）]×2名

- (2) 令和2年度全国公共図書館研究集会 サービス部門及び総合・経営部門
概要：公共図書館の総合的な経営やサービスについて考える全国規模の研究集会。
毎年研究主題を設定し開催されている。

主催：日本図書館協会

会場：大阪府大阪市

助成金額：20,000円[旅費の一部及び参加費（2,000円）]×1名

- (3) 令和2年度中国・四国地区図書館地区別研修

概要：中堅以上の司書を対象とした研修。図書館業務の専門的な知識・技術の習得を目的としている。

期日：令和2年12月8日（火）～11日（金）

主催：文部科学省、愛媛県立図書館

会場：愛媛県立図書館（愛媛県松山市）

助成金額：34,000円[旅費の一部]×2名

- (4) 第42回全国学校図書館研究大会

概要：学校図書館の役割やあり方について、全国各地の実践や研究を通して学ぶ研究大会。隔年開催。

期日：未定（令和2年8月5日（水）・6日（木）は開催見送り）

主催：全国学校図書館協議会

会場：香川県高松市

助成金額：32,000円[旅費の一部及び参加費（6,500円）]×1名

- (5) 子どもと子どもの本の講座

概要：子どもと本をつなぐ人の養成・スキルアップのための講座。「子どもと本をむすぶコース」「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」「児童文学をたのしむ特別講座」がある。各コース複数回のカリキュラムの設定だが、部分受講も可能。

主催：大阪YWCA専門学校

期日：令和2年度内

会場：大阪府大阪市

助成金額：12,000円[旅費の一部及び参加費（2,500円）]×2名

- (6) 第22回 図書館総合展【オンライン開催】

期間：令和2年11月1日（日）～11月30日（月） ※参加無料

概要：図書館、読書・出版、学術情報等に関する図書館界最大の総合展示会。巨大な会場内に様々な展示ブースを設置し、各種フォーラムが開催される。館種を超えた図書館界全体の交流・情報交換の場となっている。

主催：図書館総合展運営委員会

会場：神奈川県川崎市

助成金額：48,000円[旅費の一部]

※予算の執行状況に応じて、助成人数は調整することとする。

※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されている研修会等についても中止またはオンライン開催となる可能性がある。状況に応じて、助成対象を変更する可能性がある。最新情報はホームページ等で会員に周知する。

6 「協会ニュース」の発行（担当：西部地区の会員等）

協会の広報紙を年3回発行予定

7 第4回「本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」

図書館や書店、本などに関わる心温まるエピソードを募集し、最優秀賞、部門賞、優秀賞（合計7名程度）を決定し表彰する。集まったエピソードを活用し、図書館の魅力を発信し、読書推進の機運を喚起する。

8 鳥取県図書館協会設立30周年記念事業

平成2年に設立された当協会がまもなく設立30周年を迎えるにあたり、記念事業として30周年記念誌を刊行する。本事業の実施を通して、県内図書館の更なる発展と関係者の連携推進につなげる。

30周年記念誌編集委員会

編集委員長	山田 節子
編集副委員長	網浜 聖子
事務局長	北村 徹
グループ長公共東部	長本 次郎
〃 公共中部	山脇 幸人
〃 公共西部	菅原 朗
グループ長大学等	松浦 達也
グループ長SLA（高校）	古田 嘉博
グループ長SLA（中学校）	長石 彰
グループ長SLA（小学校）	井口恵美子
グループ長幼稚園・保育園	村上美奈子
グループ長書店・出版	古泉 淳夫
ボランティア等	山田 節子

計88p

※これに、協会の動き、資料編など数ページ程度、追加する予定。（担当：県立）

令和2年度 鳥取県図書館協会一般会計収支予算書(案)

(収入の部)

(単位 円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 会 費	471,000	491,000	△ 20,000	
県立図書館	60,000	60,000	0	60,000円×1館
市立図書館 町村立図書館	121,500	121,500	0	18,000円×2館、9,000円×2館 4,500円×15館
大学図書館 学校図書館協議会 その他団体	37,500	37,500	0	○2大、短、専、3学校協議会 4,500円×7 ○鳥取家庭文庫連絡会、米子市児童文化センター、男 女共同参画センター 2,000円×3
個人	240,000	260,000	△ 20,000	2,000円×120口
団体	12,000	12,000	0	県書店商業組合、江府図書館友の会、鶏鳴学園、 ねえよんでの会、境港読書会、図書館フレンズ けたか 2,000円×6口
2 寄 付 金	50,000	50,000	0	読書推進運動協議会助成金
3 雑 収 入	30,001	105,002	△ 75,001	
受取活動費	30,000	30,000	0	日本図書館協会
会員外収入	0	75,000	△ 75,000	鳥取県図書館大会は今年度中止
預金利息	1	2	△ 1	
4 繰 越 金	115,663	75,110	40,553	
合 計	666,664	721,112	△ 54,448	

(支出の部)

(単位 円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 会 議 費	85,000	80,000	5,000	
理事会費	75,000	70,000	5,000	理事の旅費等(臨時理事会を含む)
総会費	10,000	10,000	0	講師等旅費
2 事 業 費	489,000	577,500	△ 88,500	
鳥取県図書館大会	0	300,000	△ 300,000	鳥取県図書館大会は今年度中止
県内図書館視察	80,000	64,000	16,000	バス代(1日借上分)、土産代等
全国大会・研修会派 遣費	194,000	171,000	23,000	全国図書館大会等派遣費
発掘!図書館エビ ソード大賞	53,000	42,500	10,500	受賞者報償物品(図書カード)、広報費、雑費等
協会設立30周年記 念事業	162,000	0	162,000	記念誌発行費
3 事 務 局 費	80,000	45,000	35,000	協会ニュース用紙・発送代、封筒印刷代、会費振込手 数料値上等への対応
4 予 備 費	12,664	18,612	△ 5,948	
合 計	666,664	721,112	△ 54,448	

令和2年度 財産の部

(単位:千円)

科 目	前年度末	本年度増減	本年度末	備 考
寄附(図書カード)	31	△ 31	0	総会研修会、図書館協会設立30周年記念事業の記念誌執筆等の謝礼

(4) 議案第4号 令和3年度以降の鳥取県図書館大会等の担当地区の変更について

1 議案内容

鳥取県図書館協会の事業の企画運営は、鳥取県図書館大会実行委員会、広報委員会、企画委員会が行っている。各委員会は東部、中部、西部地区が輪番で担当している。

令和2年度は鳥取県図書館大会（以下、図書館大会とする）を中止するため、中部地区での開催を令和3年度に延期する。それに伴い、令和3年度以降は下記担当表（案）のとおり各委員会の担当地域を変更する。

担当表（案）

委員会	担当	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
図書館大会	図書館大会の企画運営	(中部)	中部	西部	東部
広 報	協会ニュースの発行	西部	東部	中部	西部
企 画	研修会、県内図書館視察の企画運営	東部	西部	東部	中部

2 議案の提出理由

令和2年度の図書館大会は中部地区で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した（中止の決定は臨時総会の書面開催の結果による）。

従来の担当表のとおり、令和3年度に図書館大会を西部地区で開催する場合は、中部開催は令和5年度（前は平成29年度）となり、長期間、中部では開催されないこととなる。

(従来の担当表)

委員会	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予定)
図書館大会	中部	西部	東部	(中部)	西部
広 報	西部	東部	中部	西部	東部
企 画	東部	中部	西部	東部	中部

鳥取県図書館協会会則

(名称)

第1条 本会は、鳥取県図書館協会という。

(事務所)

第2条 本会の事務局は、鳥取県立図書館に置く。

(目的)

第3条 本会は、県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館及び幼稚園、保育園、読書団体等の連絡連携のもとに図書館の発展を図り、鳥取県の文化の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 図書館活動の振興に関すること。
- (2) 図書館活動に関する調査研究及び普及に関すること。
- (3) 図書館関係職員の研修に関すること。
- (4) 読書運動の推進に関すること。
- (5) 図書館相互の情報交換に関すること。
- (6) その他必要な事業

(会員)

第5条 本会は、施設会員、個人会員、学生会員及び団体会員をもって構成する。

- 2 施設会員は、県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館協議会及びこれら以外の施設・団体のうち図書館の機能を有するものとする。
- 3 個人会員は、本会の趣旨に賛同する個人とする。
- 4 学生会員は、本会の趣旨に賛同する個人で大学等で学んでいる者とする。
- 5 団体会員は、本会の趣旨に賛同する団体とする。

(入会及び退会)

第6条 この会に新たに入会しようとするものは、所定の申込書に会費を添え会長に申し込むものとする。

2 会を退会しようとするものは、会長に届け出るものとする。また、個人会員の場合、会費の払い込みがない場合は、退会をしたものと見なす。

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長
- (2) 副会長 3名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2名

(役員を選出)

第8条 会長及び副会長は、総会で選出する。

2 理事及び監事は、会長が委嘱する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第10条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、会務を執行する。
- 4 監事は、業務及び会計を監査する。

(会長専決)

第11条 会長は、総会の決議を要する事項であっても、特に緊急の必要があり、なおかつ総会を招集することができない場合には専決処分をすることができる。ただし、その範囲は事業及び予算とする。

2 前項により専決処分した事項については総会で報告し、承認を受けなければならない。
(会議)

第12条 本会の会議は、総会及び理事会とする。
(総会)

第13条 総会は、定期総会と臨時総会とする。

2 定期総会は、毎年1回これを開く。

3 臨時総会は、会長が必要と認めるとき、これを開く。

4 総会の議事の成立は、出席者の過半数以上の同意をもって決め、可否同数のときは、議長の決めるところによる。総会は会長が招集し、構成員の出席により開催するが、やむを得ない理由により開催できない場合は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的方法をもって審議決定に代えることができる。

5 総会は、次の事項を審議決定する。

(1) 事業及び予算

(2) 決算

(3) 会則の改正

(4) その他必要な事項

(理事会)

第14条 理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成する。

2 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の3分の1以上の要求があったとき、会長が召集する。

3 理事会は、次の事項を審議する。

(1) 総会に提出する議案

(2) 総会から付託された事項

(3) その他必要な事項

4 理事会の議事の成立は、前条第4項の規定を準用する。

(部会)

第15条 本会の事業を推進するため、必要に応じて部会を設けることができる。

2 部会に関する規程は、別に定める。

(経費)

第16条 本会の経費は、次のものをもって充てる。

(1) 会費

(2) 分担金、補助金、寄付金

(3) その他の収入

2 会費に関する規程は、別に定める。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(細則)

第18条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な細則の制定及び改廃は、理事会の承認を経て会長が定める。

附 則

この会則は、平成2年12月5日から施行する。

附 則

この会則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成25年7月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、令和2年6月12日から施行する。

○鳥取県図書館協会会費規程

(目的)

第1条 鳥取県図書館協会会則第15条の規定に基づき、会費を定める。

(会費)

第2条 会費は、次のとおりとする。

(1) 施設会員

ア 県立図書館 年額6万円

イ 市立図書館

・人口10万人以上の市 年額1万8千円

・人口10万人未満の市 年額9千円

ウ 町村立図書館 年額4千5百円

エ 小・中・高等学校各学校図書館協議会及び高専・短大・大学図書館
年額4千5百円

オ アからエ以外の施設・団体のうち図書館の機能を有するもの 年額2千円

(2) 個人会員 年額2千円以上

(3) 学生会員 年額1千円

(4) 団体会員 年額2千円

第2条の2 個人会員は、「協会ニュース」を配布されるとともに、全国図書館大会その他の事業に参加する場合は予算の範囲内で助成を受けることができる。また、鳥取県図書館協会主催の事業に原則として無料で参加できる。

2 施設会員及び団体会員は、「協会ニュース」を配布されるとともに、全国図書館大会その他の事業に参加する場合は予算の範囲内で、各施設または団体の1名を対象に助成を受けることができる。また、鳥取県図書館協会主催の事業について、各施設または団体の1名を対象に原則として無料で参加できる。

3 学生会員は、「協会ニュース」を配布される。また、鳥取県図書館協会主催の事業に原則として無料で参加できる。

(会費の納入)

第3条 会費は、毎年7月までに納入するものとする。

附 則

この規程は、平成2年12月5日から施行し、平成3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行し、同日から適用する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行し、同日から適用する。

附 則

この規程は、平成25年7月1日から施行し、同日から適用する。

附 則

この規程は、平成28年6月29日から施行し、平成28年度分の会費から適用する。

令和元年度鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会 開催要項

1 趣 旨

全県の社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、地域づくりや人づくりに向けた生涯学習・社会教育活動の今後のあり方について考え、本県における社会教育の充実に資することを目的として開催します。

2 日 時 令和元年10月1日(火) 10:00~16:10

3 会 場 米子コンベンションセンター
米子市末広町294 (電話:0859-35-8111)

4 主 催 鳥取県社会教育協議会

5 共 催 鳥取県社会教育委員連絡協議会、鳥取県公民館連合会

6 後 援 鳥取県教育委員会

7 参加者 社会教育委員、公民館職員、教育委員会事務局職員、社会教育関係者、
学校教育関係者 等 (約200名)

8 日 程

9:30 10:00 10:20 11:50 12:45 15:55 16:10

受付	開会 行事	【講演】	昼食	【実践発表】	閉会 行事
----	----------	------	----	--------	----------

【開会行事】 あいさつ (主催者、来賓)

【講演】 「これからの社会教育のあり方」
講師 岡山大学大学院 教授 熊谷 慎之輔 氏

【実践発表】 ※社会教育委員の方は、第2会場「社会教育委員研修会」に御参加願います。

第1会場 国際会議室 (2階)	第2会場 第2会議室 (3階)	第3会場 第3会議室 (3階)
「地域の教育力の向上」 (公民館活動の充実)	「社会教育委員研修会」 「子どもの自立・青少年育成」	「家庭教育」 「図書館利用」
○12:45~13:25		
境港市	社会教育委員研修会	北栄町
Report 上道BOUSAI now (上道公民館)	<指導者> 熊谷 慎之輔 氏 (岡山大学大学院教授) <研修内容>グループ協議 日頃の取組等について情報交換 や意見交流 ※社会教育委員の皆様は、ご参加 いただきますようお願いいたします。	子ども達の声で効果UP↑↑ 「朝の元気配達便!」で伝える 家庭教育1.2か条
○13:35~14:15		
八頭町	琴浦町	智頭町
健康づくりと地域の活性化 (郡家東地区公民館)	みんな集まれ!「プレーパーク どんぐり」で遊ぼう!!	智頭町における訪問型家庭教育 支援

〇14:25~15:05		
日野町	伯耆町	若桜町
大人から子どもまで楽しめる公民館学習を目指して ～日野町の自然を生かした体験活動を中心として～ (日野町公民館)	通学合宿について	子ども達を図書館へ!『子どもの本祭り』
〇15:15~15:55		
倉吉市	日吉津村	県図書館協会
「うわなだ未来塾」 ～まち・ひと・しごと・上灘創生カレッジ“見つけよう地域資源・育もう人間力”～ (上灘公民館)	ひとのえがおづくりができる村 ～日吉津村カルチャー土曜塾の活動をとおして～	まちなかの居場所としての図書館

【市町村・団体等の実践の掲示】

鳥取市 ・鳥取市さじアストロパークの取組の紹介	米子市 ・大篠津公民館、永江公民館の主な活動紹介	岩美町 ・中央公民館が主催する「センスアップ講座」の紹介	湯梨浜町 ・青少年育成湯梨浜町民会議の活動紹介
三朝町 ・姉妹都市盟約を締結している京都府城陽市との相互派遣交流によるスポーツ・レクリエーション・野外活動の様子を紹介	南部町 ・「今こそ社会教育委員!」今年度初取組の先進地視察研修(島根県古賀町・益田市の社会教育委員の会との交流・合同研修)の様子を紹介	大山町 ・大山カレッジの紹介 社会人たちが、再び学校に通って多様な学習をし、自分の再発見、地域でできることを見つける活動	日南町 ・日南町子ども体験活動事業「にちなんっ子クラブ」の紹介
江府町 ・青少年育成江府町民会議の取組の紹介	県立大山青年の家 ・主催事業の活動紹介	県立船上山少年自然の家 ・活動内容や利用について ・主催事業「キッズアドベンチャー」の紹介	鳥取県子ども会育成連絡協議会 ・鳥取県子ども会育成連絡協議会40周年関連 ・ジュニアリーダーについて
日本ボーイスカウト鳥取連盟 ・設立70周年目の鳥取連盟の歴史、県内各団の活動、連盟役員の紹介 ・近年の主な活動の紹介(第24回世界スカウトジャンボリー開催地:アメリカ合衆国>/70周年記念野営大会等)	ガールスカウト鳥取県連盟 ・ガールスカウト鳥取県連盟の事務局・団の所在地について(地図) ・30周年キャンプ(兼、今年度県大会)の様子を紹介	鳥取県連合青年団 ・鳥取県連合青年団と加盟団の活動紹介	

※掲示は国際会議室後方に展示しています。

【閉会行事】大会宣言採択
あいさつ(主催者)

令和元年度 鳥取県図書館協会研修会のご案内

この10年間で図書館を取り巻く社会は大きく変化しました。県内の図書館においても居場所（サードプレイス）としての図書館など、地域の中で図書館は情報提供拠点にとどまらない可能性が注目されています。鳥取県図書館協会が社会教育協議会に加入した経緯などを振り返りながら、社会教育施設として図書館がどうあるべきかその思いをお話いただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

1 演題 「図書館の挑戦 ～情報提供拠点から社会教育施設へ～」

2 講師 山田 晋（鳥取県図書館協会会長）

西伯郡法勝寺中学校、大山中学校などで教鞭をとる。県教委社会教育課、生涯学習課、鳥取県米子養護学校校長などを経て、平成14年度名和中学校で退職。その後、名和町教育委員会教育長、大山町教育委員会教育長を歴任する。また、昭和35年から青年団活動や青少年教育などの地域活動をはじめ、退職後には海外シニアボランティアに参加している。平成21年7月1日より鳥取県図書館協会会長となり、社会教育施設としての図書館の役割に注目しつつ、県内の図書館振興に尽力する。

3 対象 鳥取県図書館協会員

4 定員 60名

5 日時 令和元年6月24日（月）

12:30 13:00 14:50 15:00 17:00 18:00

受付	総会	休憩	研修会	閉会	懇親会
----	----	----	-----	----	-----

6 会場 米子市立図書館 2階 多目的研修室 (米子市中町8番地 電話：0859-22-2612)

7 申込方法 裏面の「鳥取県図書館協会 研修会・懇親会 申込書」にご記入の上、メール、ファクシミリ等でお申し込みください。【申込締切：令和元年6月11日（火）】

8 懇親会（希望者のみ）

(1) 日時 令和元年6月24日（月）18:00～

(2) 会場 ファミリープラザ 9階 シュシュ

(米子市加茂町2丁目180 電話：0859-37-5112)

(3) 会費 5,500円（記念品代を含む）

※会費は懇親会開始前に会場で集金させていただきます。

※このたび退任される山田晋会長へ記念品の贈呈を予定しています。

(4) その他 申込のキャンセルは6月14日（金）までに事務局へ電話でご連絡ください。

※これ以降はキャンセル料が発生する場合があります。

9 問合せ先

鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館内）図書館協会研修会担当（三田・安藤）

〒680-0017 鳥取市尚徳町101

電話：0857-26-8155 ファクシミリ：0857-22-2996

電子メール：kyodo@library.pref.tottori.jp

令和元年度 鳥取県図書館協会 研修会・懇親会 申込書

【申込・問合せ先】 鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館内） 担当 三田・安藤

電話：0857-26-8155

FAX：0857-22-2996

メールアドレス：kyodo@library.pref.tottori.jp 申込締切 令和元年6月11日（火）

所属・役職 ※正式名称をご記入ください 例：〇〇町立図書館 司書	氏名	研修会 参加	懇親会 参加	記念品代 のみ (500円)
(記入例) 鳥取県立図書館 司書 (電話連絡先 0857-26-8155)	図書館太郎	○	○	
(電話連絡先)				
(電話連絡先)				
(電話連絡先)				
(電話連絡先)				
(電話連絡先)				
(電話連絡先)				
(電話連絡先)				

※申込受付後、電話またはメール等において受付完了をご連絡します。

申し込み後、1週間以内に連絡がない場合はお手数ですがお問い合わせください。

※記念品代のみお支払の方は、当日までに担当にお支払いください。

第25回鳥取県図書館大会報告

大会テーマ

「人生100年時代と図書館 ～知の泉、いのちの泉、体験の泉～」

令和元年7月26日（金）、とりぎん文化会館を主会場に第25回鳥取県図書館大会を開催しました（参加者約340名）。「人生100年時代」を見据えて、山田晋・前会長の退任記念講演、3つの事例発表、徳永進氏による記念講演、4つの分科会を開催しました。以下、大会の概要を報告します。

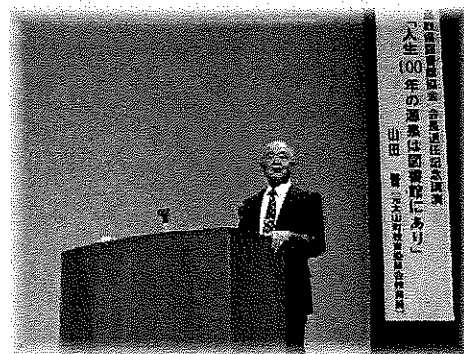
会長退任記念講演

「人生100年の源泉は図書館にあり」

（講師：山田晋・前鳥取県図書館協会会長、元大山町教育委員会教育長）

平成21年から5期10年間にわたり会長を務めた山田さんは、104歳で亡くなるまで読書に親しんだ母の姿や、高校時代には文芸部で本と出会い、本を読むことでいろんな広がりがあったと述懐。大学時代に、山岳部で山の本を読み、山を目指した経験はまさに「体験の泉」であったことを話されました。その後教員として、また大山町の教育長としてブック・スタートなどの読書活動に関わった経験もお話いただきました。

最後に、「社会の抱えている課題を社会教育の視点からどう解決するか。その課題解決の糸口が図書館でつかめるのではないか。時代の進展に伴う課題の克服に図書館は出番がある」と結ばれました。

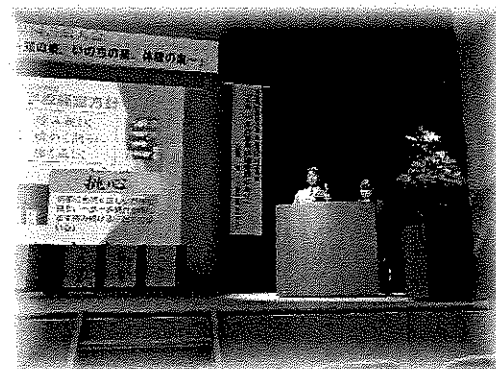


事例発表

ア 子どもの学びを支える学校図書館

（発表者：鳥取市立河原中学校校長・長石彰氏、学校司書・小河久美子氏）

教職員の授業づくりを支える情報センターとして、全教科全領域にまたがる取組みを目標にしてい



ることを、技術・家庭科や国語科等の授業例を交えながら話されました。また、学校教育も新学習指導要領の大きな変化の時代を迎え、主体的・対話的な深い学びを支える学校図書館へと充実が求められており、学校長は学校図書館長としてリーダーシップを発揮することが大切であると締めくくられました。

質疑応答でコーディネーターの山田節子会長から、校内に学校図書館運営委員会を設け、校長が代わっても変わらない運営ができるようにしてほしい、とコメントがありました。

イ 鳥取市立病院・図書室の活動とそれを支える連携について

(発表者：鳥取市立病院教育研修センター司書・小林飛鳥氏)

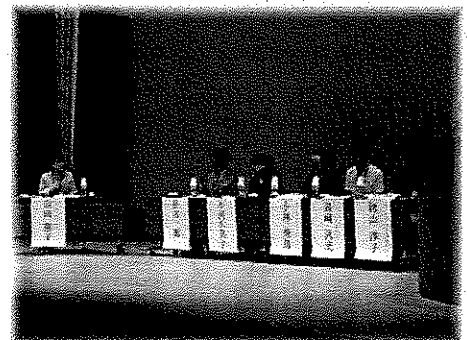
病院図書室には医療従事者のための職員図書室と患者のための患者図書室という側面があり、文献複写の依頼が多いことや医療関係以外のレファレンスも多いことが紹介されました。鳥取市立病院図書室の特徴は鳥取市立図書館の1サービス窓口となっている点や、県内のネットワークを活用して様々な資料提供やレファレンスへの対応が可能になっているということです。今後は地域医療従事者への学術支援を行い、医療の質を上げていくことが重要だと話されました。

ウ 農業×図書館？個人の体験から楽しく学ぼう！

(発表者：鳥取県立図書館支援協力課くらし産業支援担当係長・岩崎武史氏
わかさ生涯学習情報館館長・村山洋子氏)

県立図書館では平成16年よりビジネス支援に取り組んできたが、新たに県の基幹産業である農業を支援するため、全国初となる「ルーラル電子図書館」の県内図書館での広域利用などの環境整備を行ってきた経緯が紹介されました。

その一環として、連携講座を開催した若桜町からは、開催のきっかけとして大人が楽しめる企画をと考えていた際、農繁期の利用が少ないことに気づき、農業の講座を思い立ったという話がありました。野菜作り講座はベテランの農業従事者にも初心者にも好評で、図書館で得た情報でよりよいものを作ろうとすることが高齢者の生きがいになっていると紹介されました。



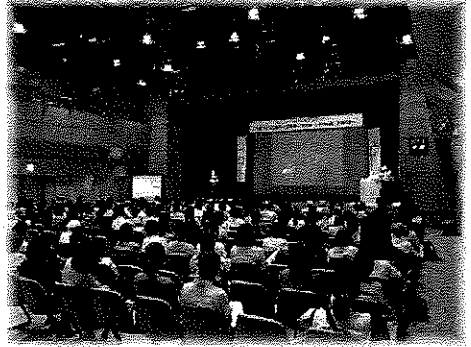
記念講演

「ことばのいのち」

(講師：臨床医・作家・野の花診療所院長・徳永進 氏)

臨床医として出会った患者やその家族との折々の具体的な場面や言葉について、ときに谷川俊太郎の詩などを引用しながらお話しされました。漢字プリントをしている子どもと母親との場面では、言葉を覚えている子と、言葉が抜けていく親との対比の中に、「ことばのリレー」がおこっていると独自の視点で捉えられていました。また、社会は年々、近代語・コンピュータ語・略語などの「一の言葉」が増えてきており、縄文語・自然語などの「二の言葉」が減っているという指摘もありました。

「患者の言葉（主訴）によって私たちは動く。プロフェッショナルとは、ことばを聞いたときどう動き出すか考えている人。先方が発する言葉を、命がけで誠意をもって行動しながら支えていけたら」という結びの言葉は、図書館のカウンターでの日常業務と重なって印象的でした。

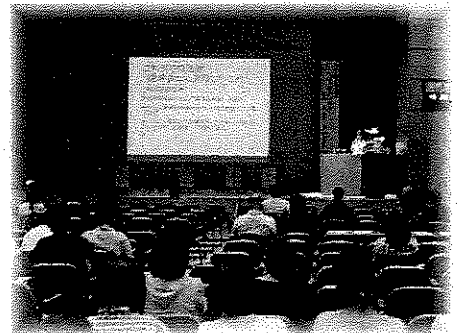


分科会

ア つながりから生まれる図書館の新たな“かたち”

(発表者：鳥取大学附属図書館資料サービス係長・金子尚登 氏、鳥取県立図書館情報相談課相談係長・高橋真太郎 氏、江府町立図書館司書・中島昭生 氏)

鳥取地区図書館実務者連絡会議（旧鳥取市域の大学・公共図書館）のこれまでの取組み、県立図書館の「サポートの必要な家庭応援事業」の広がり、学校図書館が校内で機能するための連携の重要性など、それぞれの立場でつながりや協働の大切さについてお話しいただきました。図書館と外部の協力・連携はまだまだとの声もあり、より一層の取組みが期待されます。



イ 図書館新時代

～県内図書館の新館整備の動きからこれからの図書館を考える～

(発表者：岩美町立図書館長・山口浩司氏、南部町立図書館長・新井宏則氏、
智頭町立智頭図書館館長補佐・前田美由紀氏、境港市教育委員会生涯学習
課長・黒崎享氏)

全国47都道府県のうち全市町村に図書館を設置しているのは5県だが、そのうちのひとつである鳥取県では、現在5つの自治体で新築等の新しい図書館の動きがあります。現在進行中の住民を巻き込んだワークショップや検討委員会を通じて、新しい図書館のコンセプトを共有し図書館づくりを進めている状況について、各館から報告していただきました。



ウ 生涯にわたる読書習慣の形成に向けて

～子どもの読書活動推進ビジョンの改定から考える～

(講師：鳥取県教育委員会社会教育課長・島田真紀子氏、
ワークショップ：鳥取県教育委員会社会教育課指導主事・戸板正哉氏)

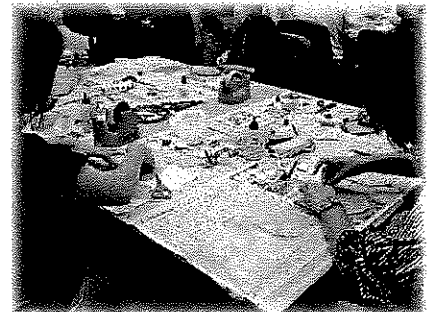
講師より、「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン第4次計画」策定の流れについて説明がありました。その後、アンケート内容から見えた課題をもとに、班ごとにワークショップを行いました。それぞれ自館の取り組みを交えて話し合い、課題解決に向けて有意義な意見交換ができました。



エ 鳥取の民話とわらべうたの小道具づくり ～聞いて、作って、楽しもう～

(講師：ねえよんでの会)

「ねえよんでの会」の皆さんを講師にお招きして、昔話・小道具作り・わらべうたの3部構成で行われました。中嶋須美子さんによる鳥取の昔話を楽しんだ後、参加者全員でペープサート「どんぐりころちゃん」を作りました。最後のわらべうたでは、完成したペープサートを使用して参加者もともに実演し、なごやかで実り多い会となりました。



県内図書館視察報告

(企画委員会)

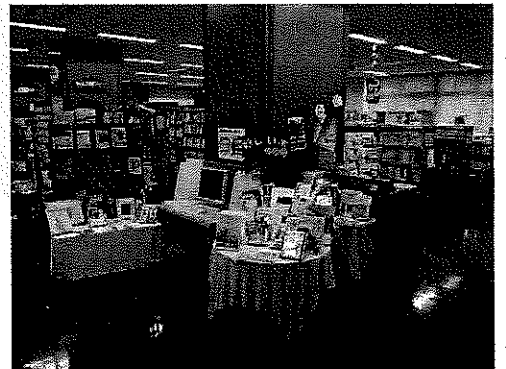
令和元年10月7日(月)に、県西部の図書館4館を視察しました。38名が参加し、それぞれの図書館の取り組みを知り、新しい発見や刺激をたくさんいただきました。各館では、本と児童・生徒や利用者を結びつけるいろいろな工夫がされています。取り組みを報告します。

■南部町立天萬図書館

(報告：大山町立図書館 永井)

各書架に、利用者からのおすすめ本の紹介や時事に関する新聞記事情報、図書館案内など細かな工夫と町民への配慮ある展示をされていて、とても居心地のよい図書館でした。

「南部町図書館まつり」では、南部町生涯学習大会と連携することで、町内における読書活動展示やビブリオバトル、ブックカフェなどたくさんの充実した催しを実施できていることも分かりました。その他、町内のスーパーに返却ポストを設置されるなど新しい取り組みもされています。



<紹介のあった事業>

- ①「私の〇〇コレクション展示」毎月1回利用者のコレクションと関連本を展示。
- ②「おとなの図書館」5月～10月までの最終金曜日に夜間開館し、大人向けのイベントも随時開催。
- ③「図書館お話し会」毎月第4日曜日に実施。
- ④「南部町図書館まつり」古本市・ビブリオバトル・ブックカフェ・工作教室等実施。
- ⑤まるごう西伯店入口へ返却ポストの設置。

■南部町立会見小学校

(報告：日吉津村図書館 土井)

会見小学校の今年のテーマ「大人も子どももワクワク感あふれる学校」をもとに先生おすすめの本を展示したり、ビブリオバトルでは先生がバトラーになったりと大人も一緒に楽しむことで、ますます子どもたちの読書意欲が高まっているように感じました。

(1) 読書に親しむための取り組み

- ①「よむよむ読書の記ろく」～よむよむ列車～
- ②「20000さつの花をさかせよう」

③ 図書委員会の活動

④「よむよむ月間」(読書推進月間)の取り組み

(2) 情報活用能力の育成



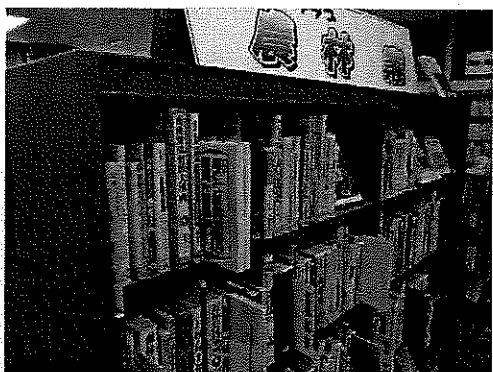
低学年でも使いやすいように作成した情報カード「びっくりカード」

小・中学校で統一した情報カード

自分たちで知りたいことを調べて解決できる場所が図書館であるということを小さい頃から学び、その力をつけることが重要だと思いました。

■日南町図書館

(報告：日野町文化センター・図書館 生田)



1996年6月に開館し、美術館、ホール、研修室等を備えた「日南町総合文化センター」の1階に設置されています。教育次長兼務の館長さんと、正職員の司書さん2名という少人数ながら、地域のニーズに合った様々な工夫と取り組みをされていました。

① ビジネス支援として、「ステップアップ農林業」という特色あるコーナーの設置

ルーラル電子図書館についても、カウンターですぐ対応できるように、パソコンの設置や表示の工夫がされています。

② 井上靖、松本清張という日南町ゆかりの文豪に関するコーナーの設置

貴重な資料をガラスケースに入れて展示するなど、そこでゆったりと過ごすことができるような雰囲気作りがされています。

③ デジタルアーカイブ化の取り組み

図書館に設置されているパソコンで、日南町郷土資料館の資料の画像を見たり、電子図書として読んだりすることができるようになっています。

■江府町立江府中学校

(報告：米子市立図書館 佐々木)

『笑顔あふれる親しみやすい図書館づくり』のために、学校全体で本を身近に感じられる取り組みをされています。特に本年度から始まった「おうち de よむよむ」は、生徒の本を選ぶ力・読む力を育む新たな活動として定着しています。

① 「おうち de よむよむ」で本が手元にある生活を体感

② 廊下や階段下広場で図書館への誘い掲示

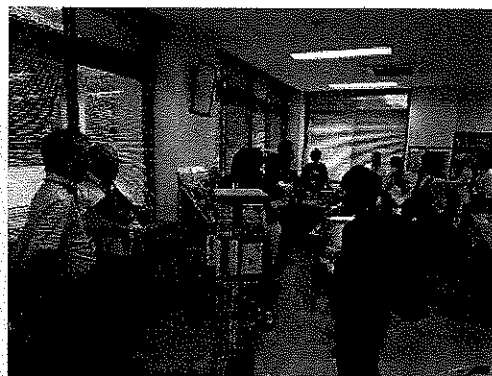
③ 下校バスの待ち時間に閲覧できるように、昇降口付近に新聞・雑誌コーナーを設置

④ 図書館のプロジェクターを使った読み聞かせ

⑤ 授業等で活用できるよう、先生方へのおすすめの本コーナーを職員室に設置

⑥ 図書館内を学習に利用しやすいような図書の配架

⑦ テーマ展示・季節展示で、図書館をくつろぎの空間づくり



令和元年度 鳥取県図書館協会 県外研修会参加費等助成事業 助成実績

対象	研修会名	開催地	開催日	参加費	往復交通費 (倉吉市～)	宿泊費	必要費用	一人当たりの 助成金額	助成 人数	助成予定 総額
1 公共・学校・ 大学等・ ボランティア等	2019年度(第105回)全国図書館大会	津市	11/21・22	4,000	27,000	10,000	41,000	32,000	1	32,000
2 公共	2019年度全国公共図書館研究集会 サービス部門及び総合・経営部門	千葉市	12/12・13	3,000	37,440	10,000	50,440	40,000	1	40,000
3 公共	2019年度全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門	松江市	11/28・29	3,000	10,680	0	13,680	3,000	0	0
4 公共・学校・ 大学等・ ボランティア等	第21回図書館総合展	横浜市	11/12～14	0	37,160	20,000	57,160	45,000	1	45,000
5 学校	第31回中国地区学校図書館研究大会	山口市	11/7・8	4,000	31,400	10,000	45,400	36,000	1	36,000
6 ボランティア等	子どもと子どもの本の講座	大阪市	2/17	2,500	12,790	0	15,290	12,000	1	12,000
(合計)										165,000

旅費助成の考え方

- ・参加費は前回研修の参考金額
- ・旅費は鳥取県の旅費規程の例により積算
- ・交通費は倉吉市を起点に鉄道で計算
- ・旅費＋参加費のおおよそ8割を目的に計算し、上限を5万円とする。

第3回「本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」審査結果について

鳥取県図書館協会事務局

●事業の概要

県内の本、書店、図書館に関するエピソード（心温まる話、面白い話、気づきや発見など）を募集し、優秀事例の表彰を行う。エピソードを募集、公開することで書店や図書館の利用や本を手にするきっかけとなること、ひいては広く読書推進につながることを期待して実施するもの。

●応募総数 90編

●スケジュール

- ・作品募集：10～翌年1月 応募締切：1/10（金）
- ・一次審査：1月 20編以内に絞り込み、最終審査へ
- ・最終審査：事前審査を経て、最終審査会を実施（図書館協会理事会同日に実施）
→ 大賞1編、優秀賞2編、本部門・書店部門・図書館部門・小中学生部門賞4編を選出
- ・結果発表：審査終了後に受賞者発表。その後に作品も掲載（県立図書館ホームページ）。
- ・表彰式：2月24日

●審査について

- ・一次審査：事務局で選考。20編以内に絞り込み、最終審査へ
- ・最終審査会：大賞1編、優秀賞2編、本部門・書店部門・図書館部門・小中学生部門賞4編を選出

[審査委員について]

山田 節子【審査委員長】	鳥取県図書館協会会長	
網浜 聖子	鳥取県図書館協会副会長	鳥取県立図書館長
山脇 幸人	鳥取県図書館協会副会長	倉吉市立図書館長
小林 千春	鳥取県図書館協会副会長	伯耆町立図書館長
古泉 淳夫	鳥取県図書館協会理事	鳥取県書店商業組合理事長

●最終審査結果

	受賞者	タイトル
大賞	西井 千織 氏	名作への切符
優秀賞	川上奈津美 氏	おはなし会でのすてきな出会い
優秀賞	田村 綾梨 氏	本でつながる
本部門賞	小谷みのり 氏	手紙
書店部門賞	三森 裕紀 氏	私にとっての書店
図書館部門賞	武安 恵子 氏	一次情報にたどり着く旅
小・中学校生部門賞	小山 華凜 氏	私の日常

令和2年度 鳥取県図書館協会研修会のご案内

鳥取短期大学は、鳥取県内で唯一、図書館の専門職員である「図書館司書」の資格が取得出来る機関として文部科学省より認定されています。また、平成30年度から学校司書のモデルカリキュラムが開設されました。司書・学校司書の現状と課題、実際に指導する中で見えてきた学生の意識の変化、学生が地域や社会と繋がるための取組についてお話しいたします。

- 1 演題 「司書養成の現場から見た図書館と司書の現状とこれから」
- 2 講師 長岡 絵里佳 氏 (鳥取短期大学 国際文化交流学科助教)

斐川町立図書館 (現・出雲市立ひかわ図書館) 職員として2年間勤務し、2012年鳥取短期大学助教に就任。図書館概論、生涯学習概論、学習指導と学校図書館、地域社会体験Bなどの授業を担当。専門は図書館情報学、社会教育学。鳥取県立図書館協議会委員 (2014年～2018年)、全国高等学校ビブリオバトル鳥取県大会実行委員 (2017～)。
 主な論文『主体的な学びをはぐくむ図書館学教育の可能性 ―鳥取短期大学「図書館倶楽部」の活動を通して―』(2013)、『鳥取短期大学司書課程の現状と受講生の意識調査』(共著) (2019) など。

- 3 日時 令和2年7月30日 (木) 午後2時40分～午後4時10分

12:30	13:00		14:30	14:40		16:05	16:10
受付	定期総会			休憩	研修会		閉会

- 4 会場 鳥取県立図書館 2階 大研修室
- 5 参加対象 鳥取県図書館協会員
- 6 定員 40人
- 7 参加申込 必要。別添の申込書に記入の上、7月22日 (水) までに申込みください。
- 8 申込・問合せ先
 鳥取県図書館協会事務局 (鳥取県立図書館内) 研修会担当 (安藤・岩崎)
 〒680-0017 鳥取市尚徳町101
 電話: 0857-26-8155 ファクシミリ: 0857-22-2996
 電子メール: andour@pref.tottori.lg.jp
- 9 その他
 研修会は定期総会終了後に開催します。
 予定時刻より多少前後することがありますのでご了承ください。

令和2年度 鳥取県図書館協会 総会・研修会申込書

【申込・問合せ先】 鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館内） 担当 三田・安藤・岩崎
 電話：0857-26-8155 FAX：0857-22-2996
 メールアドレス：andour@pref.tottori.lg.jp 申込締切 令和2年7月22日（水）

所 属・役 職 ※正式名称をご記入ください 例：〇〇町立図書館 司書	氏名	総会 参加	研修会 参加
(記入例) 鳥取県立図書館 司書 (電話連絡先 0857-26-8155)	図書館太郎	○	○
(電話連絡先)			
(電話連絡先)			
(電話連絡先)			
(電話連絡先)			
(電話連絡先)			
(電話連絡先)			
(電話連絡先)			

※応募者多数の場合は先着順となります。

定員に達した場合はお断りの連絡をさせていただきます。

令和2年度県外研修会参加費等助成事業 助成候補研修会(案)

対象	研修会名	開催地	開催日	参加費	必要費用		一人当たりの助成金額	助成予定人数	助成予定総額	備考
					往復交通費(倉吉市～)	宿泊費				
1 公共・学校・大学等・ボランティア等	2020年度(第106回)全国図書館大会	和歌山市	10/29・30	4,000	17,580	9,800	25,000	2	50,000	
2 公共	2020年度全国公共図書館研究集会 サービス部門及び総合・経営部門	大阪市	未定(R元年度は 12/12・13)	2,000	12,700	10,900	20,000	1	20,000	
3 公共	2020年度中国・四国地区 図書館地区別研修	松山市	12/8～11	0	23,360	19,600	34,000	2	68,000	
4 学校	第42回全国学校図書館研究大会	高松市	未定(8/5～7は 開催見送り)	6,500	13,800	19,600	32,000	1	32,000	
5 ボランティア等	子どもと子どもの本の講座	大阪市	任意の参加時期	2,500	12,700	0	12,000	2	24,000	
6 公共・学校・大学等・ボランティア等	第22回図書館総合展	横浜市	11/4～6	0	38,560	21,800	48,000	1	48,000	今年度はオンライン開催のため、助成対象から除外
(合計)									194,000	

旅費助成の考え方

- ・参加費は前回研修の参考金額
- ・旅費は鳥取県の旅費規程の例により積算
- ・交通費は倉吉市を起点に鉄道で計算
- ・旅費十参加費のおおよそ8割を目途に計算し、上限を5万円とする。

